

ホソイ	<i>Juncus setchuensis</i> Buchenau var. <i>effusoides</i> Buchenau	準絶滅危惧
		イグサ科
選定理由	分布域の一部において生育の条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	多年草で、高さ30-50cm。横に伸びる根茎から茎が列をつくって密生する。白緑色の茎に沢山の明瞭な縦溝がある。花期は7-8月。茎頂の集散花序にははっきりと4-5本の柄があってほぼ直立し、花は小さく淡緑色で、開出する小花柄に疎らにつく。蒴果は黄褐色、長卵形で花被片より長い。	
生態的特徴	湿地に生える。	
分布状況	本州～九州、朝鮮、中国に分布する。県内では県南の南部及びその他の地域にも分散して生育する。	
減少要因	本種の分布域は県内のかなり広い地域に分散しているが、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要のある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本 I」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良